

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名			
○保護者評価実施期間	2025年2月11日		～ 2025年3月18日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28人	(回答者数) 26人
○従業者評価実施期間	2025年2月11日		～ 2025年3月18日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3人	(回答者数) 3人
○訪問先施設評価実施期間	2025年2月11日		～ 2025年3月18日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	21か所	(回答数) 16か所
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月11日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	複数名の言語聴覚士を配置しており、ことばの専門性を活かした療育が可能である。	アセスメントを事業所全体で共有し、対応方法や環境設定を統一できるように工夫している。	多職種での連携の強化を図る。
2	専門職との個別訓練の時間を提供できている。	利用者の個性や特性を活かして、それぞれに合った訓練を提案している。	個別訓練の時間配分や訓練場所や環境の調整。
3	児童発達支援、放課後等デイサービスと併行して支援を組み合わせることで療育で獲得したスキルを所属先で発揮できるための情報共有が出来る。	事業所で獲得したスキルを違う環境で活かすために状況や環境に合わせた対応の提案や工夫を行うようにしている。	固定の対応方法ではなく、対応パターンを充実させていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	各保護者との面談等や振り返りでの関わりはあるが、保護者同士が関わる機会場の提供が出来ていない。	療育活動以外の対応できる人員が不足している。	保護者に支援中に同席してもらうなどの療育の見学同行を検討していく。
2	保育園、学校とのフィードバックの時間が短い。	相互の時間がなかなか合わずに十分な時間が確保しにくい。	業務内で保育園、学校と情報共有の方法の手段を検討していく。
3	訪問先の運営方針に沿ったアプローチの提供。	限られた時間内の支援でそれぞれの施設の運営方針に沿った支援方法の提案が難しいことがある。	継続的かつ頻りに訪問先との連携を行い、情報共有を強化していく。